

1. G16認定薬剤師数及び小論文投稿者数

厚生労働省は「患者のための薬局ビジョン」の推進のために、健康サポート薬局・かかりつけ薬剤師制度を導入した。...

生涯学習の継続を支援するために、今後とも基礎知識から最新のトピックスまで幅広く内容を充実させていきます。

2. 第19回認定薬剤師認証研修機関協議会報告

2017年2月11日(土・祝)にG17日本大学薬学部を担当で開催された。報告事項・協議事項及び厚生労働省 医薬・衛生局総務課 医薬情報室長 紀平哲也先生の講演「薬剤師教育の将来について」がありました。

前回(G16担当)の検討事項であった「JPALS研修コード」の日本協議会プロバイダー開催研修会への付与に関する要請を日本薬剤師会・山本信夫会長に申し入れた。...

次回開催： 8月26日(土) 担当 P03日本在宅薬学会 於 AP大阪梅田東

症候別アプローチ

国は、医療費削減のためにセルフメディケーションを推進しています。薬剤師は、薬局の店頭で聴き取った患者の背景からトリアージを行い、一般薬の販売を行うか、医療機関への受診勧奨を行うか、的確な判断を求められています。

このたび、日本女性薬剤師会が発刊した『症候別アプローチ』は、薬局の窓口で患者さんから相談に即応するために、イラスト・フローチャートで的確に判断できるように工夫されたものです。

「災害時薬剤師必携マニュアル」(災害時薬剤師必携マニュアル～初動3日に何が出来るか～)と同じサイズのポケット版3段です。...



(平成28年度社員総会承認)

1. 地域包括ケアシステムにおける医療安全等と薬剤師の役割

2025年をメドとした地域包括ケア構築にむけて、薬局・薬剤師は、予防から介護までの広い視点と対応力を備え、地域社会、多職種とのつながりを持つこと。...

2. 真のかかりつけ薬剤師を目指して

2016年度、厚生労働省は健康サポート薬局の制度を制定した。地域包括ケアシステムにおける薬局薬剤師の役割の一つに、疾病予防とセルフメディケーションへの貢献がある。...

3. 薬学教育における改訂コアカリキュラム実務実習(平成31年開始)が対象とする癌をはじめとする疾患に関する「薬剤師継続学習通信講座」テキストの見直しをする

4. 認知症地域医療支援事業

平成28年度から地域医療介護総合確保基金を用いて行われ、認知症薬やその服薬管理に精通した薬剤師や認知症サポート医の協力の下、研修受講者募集にあたっては、都道府県薬剤師会や関連団体の協力を得て実施するものとされている。...

5. 平成28年度高齢者の低栄養防止・重症化予防などの推進事業について

日女薬平成28年度学術講演会テキスト参加にし、講師、ワークショップ企画など、日女薬としての研修を実施する。(28年6月18日日女薬総会資料より抜粋)

一般社団法人日本女性薬剤師会創立50周年記念祝賀会

開催日：平成29年6月24日(土) (開催予定時間 17:00～)

会場：目黒 雅叙園 (はとバスで) ☆ 社員総会終了後の全国会員交流会を祝賀会とします。 ☆ 時間等詳細は後日決定次第、お知らせします。

平成29年3月1日発行 編集発行人：近藤芳子 発行：一般社団法人日本女性薬剤師会 東京都墨田区太平3-1-1坂部ビル2階 Tel: 03-3621-0489 mail: jwpa@eth.biglobe.ne.jp www.jwpa.org

あいかき



一般社団法人日本女性薬剤師会 会長 近藤由利子

日本女性薬剤師会会員の皆様には、本会事業へのご理解、ご協力に感謝いたします。

超高齢化社会への国策が次々と打ち出され、地域包括ケアシステムはもとより、あらゆるところで、薬剤師の職能が問われるようになっております。

本会では、学術活動を基本として、女性の視点を活かして、様々な事業を展開しております。学術講演会、通信講座、移動セミナー等を通して、認定薬剤師の資格取得も有利となり、多くの会員の皆様に本会事業にご参加いただいております。

症候論を早く通信講座に取り入れ、昨年発行しました「症候別アプローチ」は、かかりつけ薬剤師として「健康サポート薬局」推進に大いに貢献できるものと思います。

昭和41年4月に、秋萩島ミヨ初代会長を中心とした多くの先達熱い思いと血の滲むような努力によって設立された本会は、平成20年12月、ついに長年の悲願であった一般社団法人となり、昨年創立50周年を迎えました。

この大きな節目に、希望ある女性薬剤師の将来を見据えて、「日本女性薬剤師会50年史」の発行に向けて、作業を進めております。

今後益々、厳しさを増す医療業界の中で、日本女性薬剤師会は女性薬剤師が、ジェネラリストとして見識のスキルアップに努め、誇りと使命感をもって、社会に貢献していけるよう支援していきたいと思っております。

学術講演会 拡大する健康格差社会 健康増進のために何が出来るか

最近の医療行政について 厚生労働省 大臣官房審議官 森和彦先生 患者のそばでよく検査を！ 国際医療福祉大学 臨床検査部 下澤達雄先生 長生きは「唾液」で決まる 日本大学歯学部摂食機能療法学講座 教授 植田 耕一郎先生 健康格差社会における薬剤師の役割 千葉大学予防医学センター 社会予防医学研究部門教授 近藤克則先生

展示：薬局で扱える健き機器 展示・体験 ポスター発表：『ポスターで広げよう 女性薬剤師会のネットワーク』

日時：平成29年6月25日(日) 9:15～16:00 参加費：7,000円 薬学生無料 (要学生証・テキスト代別途1,620円税込) (6/1以降の申し込みは8,000円となります) 会場：国際ファッションセンター (KFCビル)3F 東京都墨田区横綱1-6-1 対象：全国の薬剤師・薬学生 取得単位：日本女性薬剤師会認定単位 (G16)4単位 主催：一般財団法人日本女性薬剤師会 後援：一般社団法人日本病院薬剤師会 申込方法：会員・各県女役まで 非会員：当会事務局まで 03-3621-0489

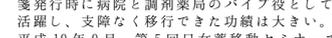
平成28年度功労賞受賞者



昭和52年入会し、入会当初から38年間役員を務めていた。この間、熊本県女性薬剤師会の確立担当副会長として会員の拡大、組織の確立、会の運営・会議の開催及び研修会開催など会の活動を支えてきた。...



昭和51年入会し、平成13年から17年、長野県女性薬剤師会副会長を、平成17年から21年、長野県女性薬剤師会会長を務めた。...



岡谷市立病院薬劑科長時代には、院外処方箋発行時に病障と調剤薬局のバイパ役として活躍し、支障なく移行できた功績は大きい。平成19年9月、第5回日女薬移動セミナーでは、先頭に立つて準備を行い、300人余の参加者を得て盛大に開催した。...

日本女性薬剤師会感謝状贈呈者 興津潤子(埼玉)85歳 松本匠子(宮城)78歳



研修会開催報告 かりつけ薬剤師と薬局でのトリアージ
在宅医療サポートのための
体験型実習と症候別アプローチ講習ー



副会長 小蘇悦子
平成28年12月18日(日) 東京都女性薬剤師会は、体験型実習講座を開催しました。
かりつけ薬剤師、サポート薬局など薬剤師を取り巻く状況は大きく変化して...

福田英二先生とご仲間の方先生方にご指導いただき、在宅医療で役立つフレイル、サルコペニア予防と、高齢者に特有な姿勢や立ち上がり、歩き方の体験を行いました。介護ベッドでの介助の体験や指輪かかてわかるサルコペニアなど、在宅訪問を行う薬剤師として知っておくべきと役に立つ経験しました。...

熊本地震義援金のお礼と報告

謹啓

この度は各県女性薬剤師会の皆さまからのあたたかい義援金を頂戴いたしましたありがとうございます。
8か月は過ぎた見目はかなり復興したかに見えますが時間とともに私たちの知らないところでの被災状況も見え聞き地震の範囲の広さ被害の甚大さを改めて認識している状況です。...

熊本県女性薬剤師会 会長 西 玲子

お城にもころ心

いま私の座右には、私が描いたお城のスケッチが立てかけてあります。この絵は古く描いたけれど、断捨離には耐えられないドラマがあります。
熊本城の本丸が再建された昭和35年ごろから、椿若葉のお城で親子スケッチ大会が開催されていました。小学生の子供も参加した折、まぐれて、親の部に入選してしまいました。...

熊本市中央区 古庄晋子

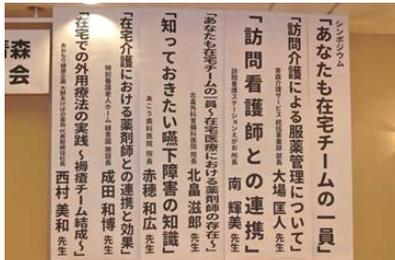


ジェネラリストかりつけ薬剤師を目指します!!

平成29年度 薬剤師継続学習通信教育講座
「薬局を地域に密着した健康情報拠点として、一般用医薬品等の適正な使用に役立つ助言や健康に関する相談、情報提供を行う等、セルフメディケーション推進のために薬局・薬剤師の活用を推進する」という「日本再興戦略」により、薬剤師に期待されることは大きく変わっています。...

シリアス1 食品とくすり シリアス2 他職種連携 (チームで支える)
学習スケジュール 4月開講 1年間に8回を学習 ※発送日は目安です
第1回不安障害「不安神経症」パニック障害 精神神経薬の使い方
第2回骨髄性白血病と骨髄がんによる痛み 痛みの治療
第3回消化性潰瘍(胃、十二指腸潰瘍)ピロリ菌除菌療法
第4回OTC医薬品の知識(健康食品・サプリメント)セルフメディケーション推進とサポート薬局
第5回婦人科が「卵巣がん」子宮がん「子宮頸がん」
第6回喫入薬と皮膚薬 目的と使い方 患者指導のため
第7回小児の発熱、いびきなどすの使い方・のませ方
第8回加齢に伴う身体の変化(2) 低栄養とフレイル、サルコペニア

第14回 日本女性薬剤師会全国移動セミナー in 青森



地域包括ケアとチーム医療の実践」をテーマとし今回のセミナーを開催しました。北海道から沖縄まで全国から女性薬剤師会会員(男性賛助会員も含む)が県外から60名、来賓、講師を含め約120名が参加しました。
来賓の皆様も、開会式終了後も退席せずに、引き続きセミナーに参加してくれた。(藤井参議院議員は北信越ブロック大会に移動のため参加)
地域ケア会議を意識し、見知らぬ人とコミュニケーションをとることを目的とし、座席は6名1グループとし、席も各自し引きで決められた。...

盛りだくさんの内容であったが、参加者からは、おむね好評で、その後の行動につながっている事例もあり、このセミナーが実践として役立つことを実感している。
前日では、オプション研修として青森県薬剤師会会館隣の無痛調剤室・安全キャビネット共同利用の見学と実習、青森県薬剤師会衛生検査センターの見学を実施し、県外から6名の参加があった。...



最後に、このセミナーを開催するにあたり、公益社団法人 在宅医療助成 勇美記念財団より、多大なるご支援を賜りましたことに対して心より感謝申し上げます。

青森県女性薬剤師会会長 金田一 成子

第14回移動セミナープログラム

- 保健・医療・福祉の架け橋になろう、そして在宅医療・在宅介護への対応
～多職種との連携による地域包括ケア体制の中で地域医療提供施設としての役割～
《セミナー》 地域包括ケアとチーム医療の実践
○ 特別講演「チーム医療・連携の本質」 医療教育団体MEDIPRO!創業者代表・メディカルアートディレクター 佐藤 和弘 先生
午後部 共催：公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団 シンポジウム 「あなたも在宅チームの一員」
○ 訪問介護による服薬管理について 青森介護サービス 統括事業部 部長 大場 匡人先生
○ 訪問看護師との連携 訪問看護ステーションえがお 所長 南 舞美先生
○ あなたも在宅チームの一員～在宅医療における薬剤師の存在～ 北信外科専門病院 院長 北島 滋郎先生
○ 知っておきたい嚥下障害の知識 あこう歯科医院 院長 赤穂 和広先生
○ 在宅介護における薬剤師との連携と効果 特別養護老人ホーム 緑青園 施設長 成田 和博先生
【事例報告】 B:3～B:5:5) 在宅での外用療法の実践～褥瘡チーム結成～ おおむ健康企画 大野あけの薬局 代表取締役社長 西村 美和 先生

第15回日本女性薬剤師会全国移動セミナー in 福島

テーマ：保健・医療・福祉の架け橋になろう、そして在宅医療・在宅介護への対応
～多職種との連携による地域包括ケア体制の中で地域医療提供施設としての役割～
『ほんとうの空は、自らの手で』
～震災から医療・介護のあり方を学ぶ～
日時：平成29年9月17日(日) 10:00～16:30
会場：郡山ビューホテルアネックス
主催：一般社団法人日本女性薬剤師会 福島県女性薬剤師会
後援：一般社団法人福島県薬剤師会
内容：(仮)
・放射線ファーマシスト育成事業と今後の方向性について
・避難所から仮住居へ、帰宅までの医師と薬剤師の関わりと今後
・避難区域等おん今後の医療・介護、街づくりに薬剤師はどうか
・薬剤師が正しい放射線知識を習得し、県民に正しく伝えるために
放射線ファーマシスト育成事業と今後の方向性について

